



令和4年3月号

< 3月の予定 >

現在本太中学校施設が使用できませんので、
17時からの修道館稽古もありません。

木曜日 3日・10日	17:30～19:00 (針ヶ谷小学校体育館) 10日も稽古できるようになりました
17日	19:00～21:00 (自由参加:駒場体育館剣道場)
24日・31日	17:00～19:00 (防具組:駒場体育館剣道場) (基本組:駒場体育館柔道場)
土曜日 5日	14:00～15:30 (小学生:片柳中学校武道場) 15:30～16:00 (錬成部:片柳中学校武道場)
12日	後期昇級審査会 15:00～17:00 (全員:駒場体育館剣道場)
19日	15:00～17:00 (防具組:駒場体育館剣道場) (基本組:駒場体育館柔道場)
26日	六年生を送る会 13:00～17:00 (全員:本太中修道館)



< 4月の予定 >

木曜日 全て	17:00～19:00 (駒場体育館剣道場)
土曜日 2日・9日・23日・30日	15:00～17:00 (駒場体育館剣道場)
16日	15:00～17:00 (本太中修道館)

< 5月の予定 >

木曜日 全て	17:00～19:00 (駒場体育館剣道場)
5日	祝日(こどもの日)のためお休み
土曜日 全て	15:00～17:00 (駒場体育館剣道場)
14日	定期総会 15:15～17:00 (南筒公民館 会議室)

※ 状況により中止や稽古場所が変更になることがあります。
詳細等は slack にてご確認ください。





本荘先生からのお言葉

3月に入って暖かい日が増え、いよいよ春本番の兆しを感じられます。年度の最後の一か月となりました。別れの季節ですが旅立ちの時とも言います。成長した6年生を笑顔で見送りたいと思っています。

さて、新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置が出され、さらに延長される見通しです。今年になって感染者が身近に出てきて、学校の学級閉鎖などもいまだ数多くあるようです。一昨年、昨年の今頃と大きく違うのは稽古ができていくということです。大事をとってちよくちよく休みにはしていますが、継続できているのはありがたいことです。今月も状況を見ながら判断していきます。繰り返しになりますが、本人もしくは家族、学校の状況などで感染の心配が少しでもあるときは、稽古参加を自粛していただきたいと思います。


卒業前の最後の楽しみにしていた「さいたま市浦和剣道大会兼少年錬成会」も中止になってしまいました。それもあって今回の六送会では何とか「6年生対2・3・4・5年生の試合」を実施したいと思っています。表紙では26日（土）本太中でとなっていますが、その日会場が使えない場合は別日に試合だけやることも考えています。まん延防止等重点措置によって会場使用が決まってきます。そのあたりの状況を踏まえ役員さんと協議しながら判断していきます。Slack generalで随時お知らせしていきますのでよろしくお願いいたします。

今年の6年生は男子ばかりの7人で、何となくかわいらしいメンバーというイメージがあります。稽古をよくがんばっていました。土曜日5時からの木刀を使った稽古も好んでよくやっていたように思います。高学年で試合がほとんどできなかったのも、勝負強さみたいなものを見る機会はそうありませんでした。でも、基本の稽古は例年以上しっかりやれましたので『打突の美しさ』は身につきました。中学生になってコロナが収束し試合ができるようになったら、駒剣でじっくり鍛えた力を発揮できる時が来るでしょう。それを楽しみにしています。卒業しても皆さんは駒剣OB会員です。稽古しに来てください。夏合宿やOB会にも参加してください。保護者の方も含めていつでもウエルカムなのが駒剣です。引き続きのご縁をよろしくお願いいたします。

2月12日（土）にOBの西先輩とOGの古澤先輩が結婚の報告に来てくれました。二人は同期で駒剣を卒業したのは14年ほど前になりますが、私はいろいろな場面を覚えています。鳩ヶ谷の大会で、ある年5人制の勝ち抜き戦がありました。決勝戦、先鋒古澤先輩が先鋒戦に勝ち次鋒と引き分け、そのあとうちの次鋒、中堅、副将が相手の中堅、副将、大将にいずれも引き分けて、大将西先輩を残して優勝したことがありました。強いチームでした。あの時、この二人が…とはまったく思いませんでした。関口先輩も結婚するそうです。おめでたい話が続きます。とてもうれしいです。

もうすぐサクラが咲きますね。重いコートもいらなくなります。身も心も軽やかに少しウキウキした気分で過ごしていきたいと思っています。

師範の先生から卒業生へ お祝いのお言葉をいただきました



卒業生、卒業生の保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。
加入期間は、それぞれですが、深く駒剣に携わり、ご協力いただき、
駒剣士に愛情を注いでくださりありがとうございました。

卒業おめでとう


山田 節男先生

六年生のみなさん卒業おめでとうございます。

ここ2年間、コロナ感染下（かんせんか）での制限があった中での活動でした。

本当ならば高学年になって合宿や大会に参加できるはずだったことができませんでした。みなさんも楽しみにしていたことと思います。私も楽しみにしていました。

しかし、そのような環境（かんきょう）でしたが、皆さんは、稽古のできる時にはしっかりと稽古を続けて各人がそれぞれ上達しました。強くなりました。技術も気持ちも。



この原稿（げんこう）が皆さんの目に触れる頃は二十四節気（にじゅうしせつき）の啓蟄（けいちつ）という頃だと思えます。ちょうどこれと同じような話をコロナ感染がまったくなかった2019年の3月、平成31年の最後のころ（令和元年は5月からでしたから）の卒業生をおくる言葉にも書きました。二十四節気とは、昔、季節を表すために一年を二十四に分けて期間と区切りの日を表したもので、立春とか春分というものそのひとつです。啓蟄は冬眠していた虫たちが目覚め地表に出始める気候のころ、冬から本格的な春への間の時季の中でわずかな変化が表れていくころです。朝晩はまだまだ寒いですが少しずつ日中の空気が柔らかく春が近づいていることが感じられると思えます。

この2年間制限された中での活動でしたが、みなさんは大変成長したと思えます。コロナについては、まだまだ予断はゆるされませんし、感染は以前よりすぐ近くで広がっているとも言えます。いろいろなことに注意しながら生活をしていかなければならないことは変わりませんが、少しずつ新しい明るい生活の見通しも聞かれれてきたと思えます。

2019年の時にも冬から春への季節の移り変わりともみなさんの小学校から中学への旅立ちの頃の話として啓蟄の話題を書きましたが、今年の今この時には、この2年間の環境からの大きな変化への期待を込めてこの時季を思いたいと啓蟄について書きました。

中学生になったら、今まで以上に世の中のことに目を向けてください。新聞や本をたくさん読んでいろいろなことに関心を持ちどうしてなのか正しい情報（じょうほう）に基（もと）づいて自分で考えることをして行ってください。世界では、戦争も起こっています。どのようなことが起こるか分からない時代ですから起こっている出来事を自分なりに考えていくことを続けてく

ださい。私も自分でわからないことを調べ考えていくことを続けます。

そして、おしまい、できるならば剣道を続けてください。どのようなかたちでもよいので、剣道を忘れずに続けてくれればうれしいです。私も長い間剣道からはなれていましたが、忘れずにいたおかげでみなさんと知り合うことができました。剣道がなければ知り合うことはありませんでした。すばらしい出会いも剣道のおかげです。

うれしいことがあったとき、なにか相談したいことがあった時ぜひ顔をだしてください。これからはずっとみなさんは駒剣の一員です。私たちはみなさんを見守っていきます。皆さんも駒剣を見守って行ってください。卒業おめでとう。



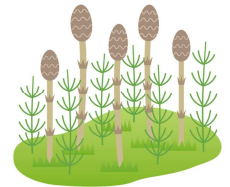
6年生に送る言葉

尾島 寿子先生

駒剣六年生の皆さん、保護者の皆さま ご卒業おめでとうございます。今日という日まで剣道を続けた事を自信とし、支えてくださったご家族に感謝の言葉を必ず伝えてくださいね。

この一年間は6年生の駒剣士にとって心と技と体が一番成長する時期だと思っています。その大切な時期に私は皆さんと時間を共に出来ず残念であり申し訳なく思います。

しかし再会した時の皆さんの成長ぶりに驚くのを楽しみにしています。



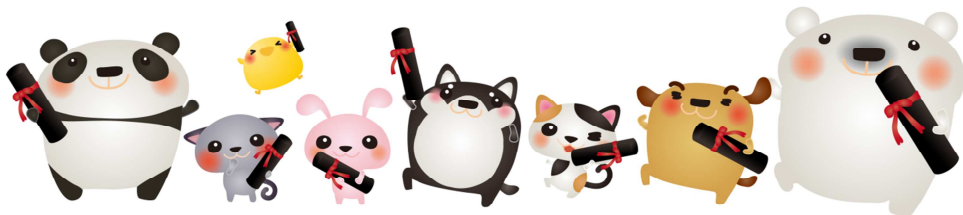
私が駒剣で25年間伝え続けた事があります。

1. <感謝する心> 身の回りの全てが、自分に関わった方の力で支えられています。有ることが当たり前でなく、無い事が当たり前だとしたら、今 目の前に有る事は特別な事です。常に感謝の気持ちを持って生活してください。私が剣道や仕事をするのを協力してくれた義理の母は、癌の手術をして声帯を失い不自由な生活をしています。義理の母に感謝する為のこの1年間でした。継続して親孝行が出来たら幸せです。
2. <草木の根の様に根っこを育てる> 幼い頃に勝ち負けだけにこだわり、他の人と比較される環境に居ると、肝心な根っこが育たず体と心を支えられません。駒剣はその根っこを育てる道場と思っています。仲間や自分の子・人の子の良さを知る事が剣士の根の成長に連鎖し、これから降るかもしれない雨や雪や強い風にも倒れない丈夫なものになります。人生の花の咲く時期は人それぞれで中学生・高校生・大学生…いつだかは分かりませんがゆっくりじっくり根を育て太い幹から青々した葉を茂らせ、キラキラした花を咲かせてください。
3. <駒剣は家族> 以前、こまけんだよりにOBの関口君が「駒剣は家族」と書いたように、多くの続柄・役割の人が居ます。故丸山先生・菅原先生はおじいちゃん。本荘会長はこの二人のお墓参りを欠かしません。親を大切にする立派な家長さんです。私はちょっと若めのおばあちゃん？ 師範、錬成部、後援部は父・母やおじさん・おばさん、卒業生は兄・姉で、仲間は兄弟姉妹・い

とこ……大家族、駒剣一家ですね。駒剣士は私にとって孫の様な存在で愛おしく思っています。駒剣OB会の開会では「お帰りなさい。」と言って迎え、閉会では「行ってらっしゃい。」と毎年送り出してきました。

最後に…私の娘が、仕事に就いた際に「お母さん、剣道をやらせてくれてありがとう。」と話してくれた事がありました。ほんの短い期間でしたが剣道の経験が社会に出て役に立ったそうです。剣の道がこれからの君たちの道標になりますように。

そして「行ってらっしゃい。」



太郎の百錬自得



第94回

長谷部 太郎先生

2022年3月

いよいよ年度の最終月ですね。毎年この時期は、時の流れの速さに圧倒されます。年々そう感じるようになってきているのかもしれませんが、歳ですかねえ。

先月、父が急逝しまして、本荘先生をはじめ、駒剣のみなさんのご厚情を賜りました。本当に感謝しています。四十九日と重なり、六送会に出席することができませんが、6年生たちが今後中学高校と伸び伸び成長していくことを心から願っています。中学高校は人生のなかでもハブというか重要な転機になる時期だと思っています。あつという間ですから、今この瞬間を大事にするようにしてください。

私が剣道をはじめたのも、今ここにあるのも、父のおかげです。今回は少し父の話させてください。

父は幼少から剣道を学び、高校ではインターハイ団体で優勝、大学に進学後は、主将をつとめ、活躍しました。卒業後も剣道に携わり、剣道連盟の会長も務めておりました。そんな父にとって剣道は父の大部分を占めていると言ってよく、私も妹も知らないうちに剣道をはじめていました。思い返すと、稽古は厳しかったですが、本当に丁寧に教えてくれていました。私が小中学の当時はほぼ週5、6回稽古していましたし、夜は家で自主トレでした。不思議とそこまで嫌ではなかったと思うのは何なのでしょう。ただし、私自身は小中と病弱で剣道でなにか良い戦績があるわけでもなかったです。正直トップレベルでやってきた父には物足りなかったと思いますが、そんな素振りは見せませんでした。

私は高校でも大学でも剣道部に入り剣道が続けたのですが、大変喜んでいと母に聞きました。そういえば、大学時代、父は上京すると私の同期と一緒に飲みたいと言って、何度か飲んだことがあります。若い学生たちがする剣道の話ニコニコしながら聞いて、楽しそうにしていたなど思い出します。社会人になりしばらくして、駒剣で子どもたちと一緒に剣道を再開しました。もちろん孫が剣道をしたことに大いに喜んで、帰省すると素振りなどを見て笑顔でアドバイスしてくれていました。昇段審査も応援をしてくれました。私は一昨年七段に合格しましたが、合格した後は、仲のよい剣道仲間には自分のことのように誇らしく話していたと聞きました。

父が在籍した秋高剣道部同期生のみなさんは、父の代が黄金期で未だに良い仲間、葬儀にもみんなが駆けつけてくれました。コロナの影響もあり、通夜はしなかったのですが、秋高剣道部のみなさんが父の霊前で飲み明かしてくれました。あれがまさしく通夜だと思います。父も喜んだはず。その晩聞いた話ですが、父は本当に稽古熱心で、当時の大将（現範士八段の小松先生）が仮病で授業サボったときも、父は「稽古だけは来いよ」と言っていたそうです。毎日夜自宅の近くでカーブミラーに姿を写して自主練をしていたとも聞きました。こういった話は聞いたことがありませんでした。

私自身大きな支えを失ってしまいましたが、私としてはなんとか乗り越えて、父が愛した剣道を通じて、微力ながらより良い社会を作っていくために励みたいと思っています。今は修道館が使えませんが、また再開したら、みなさんと交剣知愛の精神で、稽古をさせていただきたいと思っています。引き続きよろしくお祈いします。この度はありがとうございました。

新ジャイアンのはなうた♪



よっ！ みんな、元気か？

もう3月に入っちゃったな。12か月のうち、2か月がたってしまったってことだな。分数でいうと、1年のうち、12分の2、約分して6分の1が終わってしまったってことだ。1月に今年の目標を立てたと思うけど、順調にしているかな？もう、6分の1過ぎているから、ちょっとは進んでないと、目標達成が難しくなっちゃうぞ。今年の目標について、どの程度進んでいるか、確認する良い機会なので、是非、確認してくれよな。

え？ ジャイアンはどうかって？ ジャイアンは、少しは、進んだ感じ。今年の目標のうち、ダイエットについては、少し、進んで、4kgくらいは減ったぞ。でも、気を許すと、すぐに戻りそうになるので、ほんと、大変。他の目標は、あまり進んでないので、3月、4月はそちらの方もがんばらないとな。

ところで、剣道だけど、コロナのせいで、なかなか稽古ができない状況が続いているけど、「こういうときにどうするか」が大切だぞ。神様が見てるかどうかはわからないけど、剣道に限らず、勉強だって、何だって、努力すれば、必ず成果がでるとジャイアンは思うぞ。だから、こういうときこそ、素振りをしたり、ランニングをして基礎体力を作ったり、剣道のビデオや動画を見たりするのもいいかもしれないな。とにかく、剣道とはなれないようにするのが大切だ。1日に1回は、何か剣道のことをやってほしいな。それと、やったことは、ノートとかメモ帳に記録しておくといひぞ。

それと、素振りで注意して欲しいのは、いっぱいやるとか、はやく振ることばかり考えて、間違った素振りをしないようにして欲しいってことだな。ポイントをいうと、まずは、正しく振り上げられているか。身体を中心線にそって両手が上がっていくことが大切なのはもちろんだけど、振りかぶったときにひじが伸びきってしまっている人、左のこぶしが前に出ている人がけっこういるけど、これはだめだぞ。そこんところ、しっかり確認しながらやってくれよな。それと、振りかぶったときに竹刀を振りかぶりすぎないこと。大すぶりを除けば、振りかぶった竹刀の先が斜め45度くらいになっているのが良くて、それ以上ふりかぶるのは意味がないぞ。ときどき、床と並行になるくらいまで振りかぶっている人がいるけど、そんなに振りかぶったら、スキだらけになって相手に打たれやすくなってしまふし、こちらの打ちは遅くなってしまふよな。だから、どの程度まで振りかぶったらいいのか、ゆっくり素振りをしながら確認するといひと思うぞ。

何も考えないで1000本の素振りをすると、じっくり考えながら、確認しながら10本素振りするのでは、考えながら、確認しながらの方が、ずっと身につくと思うぞ。ぜひ、試してみてくださいよな。

6年生は、卒業前の1か月、5年生以下も進級前の最後の1か月になるな。「終わりよければ全てよし」ということわざにもあるように、しめくくりがしっかりできれば、気持ちよく進学、進級できるはずだぞ。そういう気持ちで、3月を過ごしてみたらどうかな。

じゃあ、またな！

卒業生 & 保護者の方から駒剣のみなさんへ

卒業に際し、6年生と保護者の皆さまに溢れる想いを書いていただきました。
共に過ごした時間を思い返しながら、じっくりご覧ください。

【卒業生より】

柴田くん



僕は二年生の時に駒剣に入会しました。剣道始める前は簡単そうに見えていましたが、実際にやってみると思いのほか難しく、あまり上手にできませんでした。面や胴などの防具をつけると、とても重く、先生や先輩方のすごさを実感しました。でも稽古を続けるうちに以前は出来なかった返し技などが徐々に出来るようになり、試合に勝てるようになった時はとてもうれしかったです。夏合宿最終日の試合で二年連続優勝できたことや、六年生を送る会で先輩達から一本取れたことは、良い思い出となりまた自信にもつながりました。真冬の寒稽古では、初日は疲れてきついなあと思いましたが、終わった時には寒稽古前より強くなったことが実感できました。試合に負けて悔しい思いを味わったり、一級審査に合格してみんなで大喜びしたり、この五年間で本当に色々な経験をする事ができました。六年生ではキャプテンになり、自覚を持って稽古に励みました。準備運動や号令では大きな声を出すよう心がけ、後輩達のお手本になるよう努めました。最後の一年は今まで以上に頑張って稽古ができたと思います。中学校で剣道続けるかはまだ分かりませんが、駒剣で学んだ礼儀や精神力を生かしてこれからも頑張っていきたいです。今まで熱心に指導して下さった先生方、サポートして下さった保護者の方々、一緒に稽古してくれた皆さん、五年間本当にありがとうございました。

岩田くん



ぼくは、二年生の時から五年間お世話になりました。剣道を初めてしばらくしてもなかなか試合で勝つことが出来ませんでした。でも、五年生くらいからだんだんと試合でも勝てるようになり剣道が本当に楽しいと思えるようになりました。この経験を生かし中学校でも剣道部で頑張りたいと思います。また、剣道に限らず日常でも大切にしなければならないことなども教えてくださった、先生方、保護者の皆さん、今まで本当にありがとうございました。

小澤くん



僕は、2年生から6年生の5年間、駒剣でお世話になりました。剣道教室では、同学年や、一つ上の学年の子達と剣道の基本について知り「剣道って、色々きまりがあるんだなあ」と感心しました。初めての試合では、対戦相手と共にずっと硬直状態になり、先生や先輩達が掛け声をしてくれる中、自分が思い切って面を打つと一本が入り、試合の楽しさが、少しわかった様な気がしました。最初の頃は、練習もキツイし、打たれると痛いし、ミスをしたりすると、先輩達などに申し訳がなくなってしまい、一時剣道が嫌いになってしまいました。しかし、剣道をやっていくにつれて、打たれる事に慣れていき、技も少しずつ上達していきました。駒剣では、いろいろな楽しい行事もあり、駒剣士のみんなと仲を深めることが出来ました。優しい先生や先輩方がいたからこそ、5年間頑張ってくれたと思います。ありがとうございました。

小島くん



入会したとき、仲良く話せるのは同じ小学校の品田くんだけでした。でも、いろんな人と話し、今では全員と仲良く話せるようになったと思います。これは自分にとってすごいことだと思います。なぜなら、僕は同じ学校の同級生や下級生と遊んだことがあっても、名前がわからなかったりして仲がいいとまではいかなかったからです。でも駒剣では同級生でも下級生でも普通にいろんな話しが出来ているし皆の名前もわかっているので、僕にとってはすごいことです。

コロナがあって行きたかった合宿には行けなかったけど、他の行事で皆と稽古や試合（その他）が出来たのでとても楽しかったです。

もし今度、大会などで会う機会があったら一緒に頑張りましょうね。
3年間ありがとうございました。

品田くん



僕は、2年生のときに駒場剣友会に入りました。駒剣に入った理由は剣道をする姿がかっこいいなと思ったことと、竹刀や木刀を持ってみたいなと思ったことです。五年間剣道をしていて、お稽古が面倒だなと思ったこともあったけど、五年間のほとんどが楽しい思い出ばかりです。一度しか行けなかった合宿は先生や駒剣の友達と一緒に過ごせてすごく楽しかったです。もう一度行きたかったと思います。クリスマス会で先生方がいつもプレゼントを用意してくださったこともすごく嬉しかったです。そして、たくさんの先生方にたくさん声をかけてもらってやさしくしてもらいました。本当にありがとうございました。中学でも駒剣で教えてもらったことを忘れずがんばっていきます。

矢嶋くん



僕は2年生から5年間駒剣で剣道をやってきました。始めた頃は、やる気もなくて行くのが嫌な日もたくさんありました。防具は重いし、足も冷たいし、痛いしでやめたいなと思ってばかりでした。

でも先生方に褒められたりして、嬉しい時もあり、また稽古が終わった後に先輩や同級生と話をするのはとても楽しい時間でした。

5年生になる頃に、コロナの影響で稽古がお休みになり、稽古が再開されても試合や合宿も出来ず、複雑な気持ちでした。今から考えるとこの頃にたくさん稽古できたら良かったと思います。

今僕が駒剣に対して思うことは、やめたいなと思ったこともあったけど、先生方や友達に出会えたことや、稽古中にほめてもらったこと、丁寧に教えてもらったことなど、たくさんいい思い出をもらったということです。

剣道からは礼儀やその他たくさんのお話を学んだと思います。また稽古の終わりに聞く先生方のお話もとてもためになりました。

中学生になると小学校とは全然違う環境になるとは思いますが、僕なりに何事もあきらめず頑張っていこうと思います。先生方や保護者の方々、駒剣士のみんな、本当にありがとうございました。

山崎くん



ぼくは、3年生から駒剣に入会して4年間お世話になりました。

ぼくは、姉が駒剣に入っていたので入会しました。入ってみるとすり足や早素振りが難しくてうまくできませんでした。特にたつたがわは、防具を付けたまま稽古の最後にやるのでつらかったけれど、やり終えたあとはやりきった感があり気持ちよかったです。

駒剣で習った礼儀を生かして中学も頑張りたいです。

お世話になりました。ありがとうございました。

【卒業生保護者より】

柴田くん(母)



駒剣には息子が二年生の時の剣道教室からお世話になりました。体を動かすことが大好きで活発な息子でしたが、落ち着きがなく、また怖がりや泣き虫なところがあつたので、精神力を鍛えてほしい、礼儀作法や集中力、強い心を身につけて欲しいという願いから、何か武道を習わせたいと漠然と思っておりました。私自身がかつて池波正太郎や藤沢周平の小説にはまっていたこともあり、武道をやるならできれば剣道を…と思っていた時にたまたま見つけたのが駒剣のホームページでした。

早速息子と二人で見学に行き、その時の気迫溢れる稽古風景や大きな声で挨拶をする礼儀正しい駒剣士達の様子を見て、是非息子を入会させたいと思いました。(息子自身は稽古の迫力に圧倒され、当初はあまり乗り気ではなかったようですが…) 翌週から剣道教室の受付が始まるというタイミングでしたので、今思うと本当にご縁があつたのだと思います。

手先が不器用な息子は、当初防具の紐を結んだり、手拭いで帽子を作ることも一人でなかなか上手くできず、防具の片付け方や道着のたたみ方など右も左も分からない状況でしたが、先生や先輩方はとても親切に根気強く教えてくださいました。私の勧めで始めた剣道ではありませんが、すぐに息子もその魅力に取り憑かれ、家の中でも踏み込みや足さばき、素振りをしたりと剣道が大好きになったようで、真夏の暑い日も凍えるような冬の寒い日も嫌がることなくお稽古に通いました。

初めて試合で勝った時の照れ臭そうな顔や、先生に褒められたことを報告してくれた時の嬉しそうな顔、試合で負けた時に見せた悔し涙、稽古終わりのモップがけや後輩の面紐を直してあげている姿 etc…日々息子が成長する姿を間近で見ることができ、私自身もかけがえのない貴重な五年間を過ごさせていただきました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

六年生になりキャプテンになってからは、今までのただ楽しいだけの稽古ではなく、キャプテンとしての責任感が加わつたこともあり、壁にぶつかったり悩んだりしたこともあつたようです。膝や踵を痛めて思うように剣道が出来ず、剣道や稽古そのものがあまり好きではなくなつたような様子も見受けられました。それでも弱音を吐かず、何とか稽古を頑張つてこられたのは先生方や沢山の仲間に支えられたからだと思っています。

いまだに息子はオバケが大嫌いで怖がりは克服できていないようですが(笑)、集中力や責任感、礼儀作法など駒剣でたくさんものを身につけることができました。中学入学後は剣道部に入るかまだ迷っているようですが、仮に剣道を離れたとしても、駒剣で教えていただいた「真っ直ぐな剣道」と「心技体」の精神を忘れずに、常に感謝の気持ちを持って、何事にも正々堂々と取り組んでいって欲しいと思っています。

今まで親身になってご指導いただいた師範の先生方や錬成部の先生方、そしていつも温かく見守ってくださった保護者の皆さま、一緒にお稽古して下さつた駒剣士の皆さん、本当にありがとうございました。

岩田くん(母)



師範の先生方、錬成部の先生方、一緒にお稽古をしてくれた駒剣士達、そして保護者の皆さん、小2の剣道教室から五年間大変お世話になりました。

何事にもマイペースの朗は親の私でもイラッとするのですが、先生方には剣道の楽しさや日常の礼儀などを愛情深くご指導いただき、小さな成長や良いところを誉めていただきました。

それが、朗の自信になりやる気になっていたように思います。

駒剣に入会した朗は、カッコいい先輩達からいいお手本をたくさん学ぶことができました。同期の仲間達に会えることも駒剣に通う大きな楽しみでした。

「仲がいいのは良いがコロナに気を付けて、もう少し離れなさい」と先生方から注意されるほど仲良くしてくれました。

下級生の剣士から「岩田先輩」と呼んでもらつて、何かを教えている姿は、我が子の成長を感じとても嬉しく思いました。

保護者の皆さんには、親子共々大変お世話になりました。
朗は、よく忘れ物をしたり、いろいろご迷惑をおかけしてしまいましたが、優しい目で見守っていただきました。
私にとっても、剣道以外の子育てのこと等を話したりお聞きしたりと、とても大事な時間でした。
駒剣に入会していなければ得られなかった素晴らしいご縁に感謝し、このご縁がこれからも続いて行くことを願っております。
ありがとうございました。

小澤くん(母)



卒業おめでとうございます。ついにこの日が来たんだなと、未だに実感がわかないまま文章を考えています。駒場剣友会にお世話になって、姉の美優から、約7年間がたちました。一輝と私は、駒剣士の同期でもあります。
初めは、親の私が、男の子なら、何かスポーツをやらせたい一心で始めさせたので、他の家とは、ちょっと違う形で始まった、剣道生活だったかもしれません。だから、同期の私もやる気になってくれればとちょっと必死でした。そんな私の気持ちとは裏腹に一輝の剣道に向かう姿勢は、いつもマイペース。
「剣道楽しいのかな？」試合を見ては、他の子とはちょっと違う試合ペースに戸惑いを感じる事もありました。でも、学年が上がるにつれて、だんだんと意欲が変わってきている一輝に気がつく事ができ、今では剣道をやらせて良かったと思っています。そして、何よりも嬉しかったのは、今年の合宿杯兼OB会で優勝出来た事です。こんな日が来るなんて、自分の事のように本当に嬉しかったです。これも、いつも変わらず、そして一生懸命指導して下さいた師範の先生錬成部の皆様、毎回楽しく一緒に稽古をしてくれた、駒剣士のみんながいてくれたからだと思っています。最近の一輝は、すっかり剣道にも詳しくなり、いつの間にか形も自分を超えてしまいました。中学校になっても剣道を続けて行くことになるとは思いますが、私も息子に負けないように、これからもお稽古一緒に頑張っていけたらと思っています。最後に、今年度は、いろいろとご迷惑をおかけしながら、副部長をさせていただきました。そして、私の事を見守って下さった、師範の先生、錬成部、保護者の皆様本当にありがとうございました。これからも親子共々どうぞよろしくお願い致します。

小島くん(母)



6年生の中では一番遅く4年生からの入会です。それまで何か習い事をさせたいという気持ちはあったものの、私自身が平日は送り迎えをすることができない状態で諦めていました。そんなときに、錬成部の峯さんから声をかけて頂き、木曜日は息子の通う針ヶ谷小でのお稽古で送り迎えは不要、土曜日だけの送り迎え、さらに、姉二人も中学に入って剣道部に入っていたことから、入会を決めさせて頂きました。

小学生の習い事は、全くの未経験で、習い事させている親の大変そうな話の噂だけが耳に入ってきていた状態だったので、息子以上に不安でした。

入会して、1年目は係(六送会)仕事のみ、2年目から会計もさせて頂くことになりましたが、やってみて皆様にはたくさんお世話になってしまいましたが、思い返すと「様々な学校の保護者様といろんな話も出来たし、楽しかったな??」と思います。

息子も剣道を始めたことで、上二人の姉とも剣道の話をする機会も多々あり、親から見て微笑ましい感じでした。(残念ながら、長女は高校から別の部活、次女はこの春から高校なので、どの部活に入るのかは不明ですが。)

息子は入会してから現在まで、面倒くさいから休みたいと言っている時期もありましたが、駒剣の剣道自体を嫌がることはなく、3年間続けることが出来ました。

それも先生方をはじめ周りの皆様の優しさに支えられきたおかげです。

中学に入っても、きっと剣道を続けると思っています(私の気持ちのみ)。

4月以降もどこかの会場で皆様にお会いすることを楽しみにしています。

親子共々、3年間ありがとうございました??

品田くん(母)



兄の友達である佐藤くんが駒剣に誘ってくれたことが入会のきっかけでした。佐藤くんみたいにピシッとしたいい子になるといいなあと思っていました。息子は佐藤くんみたいにはなれなかったし、いいことばかりではなかったけれど、五年間続けられたことに安堵の思いでいっぱいです。息子は息子で私は私でたくさんのお話を学べた五年間でした。駒剣の師範の先生をはじめ、錬成部、後援部、息子と一緒に稽古してくれた駒剣士の皆様に支えていただいたこと心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

矢嶋くん(母)

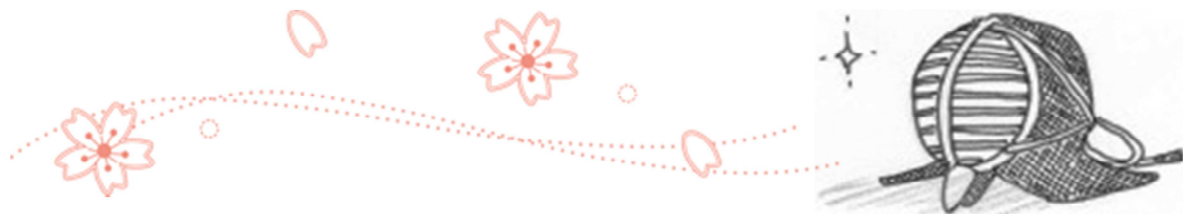


小さい頃から木の棒やおもちゃの剣をいつも振りまわして遊んでいた類を2年生で剣道教室に連れて行きました。その頃、何かスポーツをやらせたいと考えていたこと、ゲーム好きで放っておくとそればかりやっていたことから、姉の同級生やPTAで知り合ったお母さんのお子さんが入会していた駒場剣友会の剣道教室に連れて行こうと決めました。本人よりも親主導でした。そのまま入会したのですが、本人はそれほど乗り気でない日も多く、お稽古に行く前になると不機嫌になったり、準備がなかなか進まなかったりとそんな日々も続きました。そんな態度を取るのに「もうやめる？」と聞くとしばらくしてやって来て「やっぱり続ける」と言う。そんなことの繰り返しでした。5年生になる頃にお稽古休止になり、再開されてもこの2年間は通常ではない日々が続きました。そのような日々の中で、新しくなった駒場体育館の剣道場で6年生になって初めてお稽古があった日、お迎えに行った私の手を引っ張って「すっごく綺麗だよ、見て見て」「すっごく楽しかった」と言う笑顔を見て、私が一人で感動していたことは秘密にしてあります。5年間、励まし、褒めてもいただき丁寧にご指導いただいた先生方には本当に感謝しております。一緒に稽古をして仲良くしてくれた駒剣士たち、ご迷惑をかけたこともあった保護者の皆さま、学校以外でのあたたかい居場所を与えていただけたこと、親子共々感謝しかありません。本当にありがとうございました。

山崎くん(父)



駒場剣友会の先生方、後援部の方々にはご指導いただきましてありがとうございます。末っ子の晃史は、次女倭佳(2011年から2014年まで駒剣在籍)の影響もあり入会しました。3年生秋から入会ですが、学校のソフトボールクラブを続けながらだったので、重なる土曜日はかなり体力的に大変だったと思います。『かかり稽古で筋肉痛だよ』『早素振り200回はきついね』『夏のマスクは息ができず大変だよ』帰りの車で会話した事が懐かしく感じられます。ここまで続けたこれたのは、熱心に指導くださる先生や後援部の方、そして温かい目で見守る友達や保護者の方々のおかげと感謝しております。ここ数年コロナ禍の為、大会・試合・駒剣イベントの中止や縮小を余儀なくされ、目の前の目標や励みがなくなり残念でした。それでも多くの皆様の努力で稽古できたことは、子供にとっても今後の人生の糧になると思います。駒場剣友会の方々に、心身共に鍛えて頂き感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



石井のetc日記

